

Yokohama Choral Society

# 横浜合唱協会 第65回定期演奏会

## バッハとメンデルスゾーン

～ドイツ交流演奏会に向けて～



J.S.バッハ(1685～1750)

*Kantate "Gottes Zeit ist allerbeste Zeit" BWV106*  
カンタータ第106番 「神の時こそ最良の時」

*"Singet dem Herrn ein neues Lied" BWV225*  
主に向かって新しい歌をうたえ

*"Messe in A-dur" BWV234*  
ミサ曲 イ長調

F.メンデルスゾーン(1809～1847)

*"Lass, o Herr, mich Hilfe finden" Op.96-1*  
おお主よ、わたしを助けてください

*"Herr, nun lässest du deinen Diener in Frieden fahren" Op.69-1*  
主よ、今こそあなたはこの僕を安らかにいかせてくださいます

*"Magnificat 'Mein Herz erhebet Gott'" Op.69-3*  
マニフィカト (わたしの心は神をあがめ)

*"Die Deutsche Liturgie" MWV B57*  
ドイツ典礼



指揮：八尋和美 / 山神健志  
ソプラノ：星川美保子  
アルト：小川明子  
テノール：鏡貴之  
バス：成瀬当正  
管弦楽：東京バッハ・カンタータ・アンサンブル

2015年8月9日(日) 14:00 開演 (13:20 開場)

横浜みなとみらいホール・大ホール

東急東横線直通みなとみらい線 みなとみらい駅 徒歩3分

JR/横浜市営地下鉄 桜木町駅 徒歩12分

主催：横浜合唱協会 <http://www.ycs.gr.jp/>

料金：S 席：3,000円 A 席：2,000円  
(全席指定) 学生席：500円

お問合せ：Tel&Fax:045-894-3031(ふじい)

Mail:ycs\_ensoukai@yahoo.co.jp

## バッハとメンデルスゾーン ～ドイツ交流演奏会に向けて～

今回のプログラムはドイツ交流演奏会に合わせて組み立てました。私たちは9月にドイツのライブツィヒとクヴェトリンブルクで演奏致しますが、ライブツィヒでは毎年6月にはバッハ音楽祭、そして9月にはメンデルスゾーン音楽祭が開催されています。そのライブツィヒの聖トーマス教会で、横浜合唱協会にとって今回で4度目となる礼拝式での演奏を9月20日の午前に行います。そして午後には同教会でライブツィヒを中心に活躍する合唱団とジョイントコンサート、さらに2日後には世界遺産の地、クヴェトリンブルクへと演奏を重ねます。

そこで本日は、聖トーマス教会を訪れたモーツァルトに驚きと感動を与えたバッハのモテット“主に向かって新しい歌を歌え(BWV225)”、プロイセン国王との約束を果たした礼拝式の決定版メンデルスゾーンの「ドイツ典礼」、さらにバッハ初期の珠玉の名曲であるカンタータ第106番(BWV106)、4曲のミサ曲集と言えるルター派ミサ曲から、第1番目に置かれ、冒頭のフランス風序曲が印象的な曲で、ライブツィヒでは地元合唱団との合同演奏曲であるA-durミサ(BWV234)等を取り上げます。

### 指揮者紹介

東京芸術大学音楽科卒業。音楽を谷田部勁吉、指揮法を渡辺暁雄の諸氏に師事。芸大卒業と同時に、東京混声合唱団の創立に参加。以来、東京混声合唱団のコンサートマスターとして、同団のトレーニング、編曲、指揮者として活躍。



八尋和美



山神健志

1973年生まれ。自由学園最高学部卒業、東京芸術大学卒業後イタリアに留学。帰国後、合唱指揮者として活動を開始。現在は、児童合唱から大規模な混声合唱まで多くの合唱団の常任指揮者を務めるほか、各地で市民参加による公募合唱団を指導。最近では2011年ベートーヴェン『第九』(指揮:ヤクブ・フルシヤ)、ドヴォルザーク『スターバト・マーテル』(指揮:広上淳一)、2013年ヴェルディ『レクイエム』(指揮:三ツ橋敬子)、2014年ブラームス『ドイツ・レクイエム』(指揮:広上淳一)等の合唱指揮を担当。その的確な指導は共演した内外

の指揮者や合唱団から信頼を得ている。また、オーケストラと歌う素晴らしさを子どもから大人まで広く体験してもらおうと精力的に活動し、これまでにジョン・ラッター『子どもたちのミサ』(オーケストラ版日本初演)、上田真樹「あらしのよるに」(オーケストラ版委嘱初演)をはじめ、多くのコンサートを企画、指揮している。オーケストラ指揮の分野でも特に宗教音楽での評価が高く、今後の活躍が期待されている指揮者である。今回初めて横浜合唱協会を指揮する。

1973年、東京混声合唱団指揮者に就任。同団との全国的な演奏活動の他、アマチュア合唱団の指導、合唱指導者の育成にも優れた手腕を発揮している。

1982年、文化庁芸術家在外研修員として、旧東ドイツを中心に研鑽を積む。

1997年、東京混声合唱団正指揮者に就任。

現在、くらしき作陽大学客員教授。

横浜合唱協会は1973年より指導。

### 横浜みなとみらいホール案内図

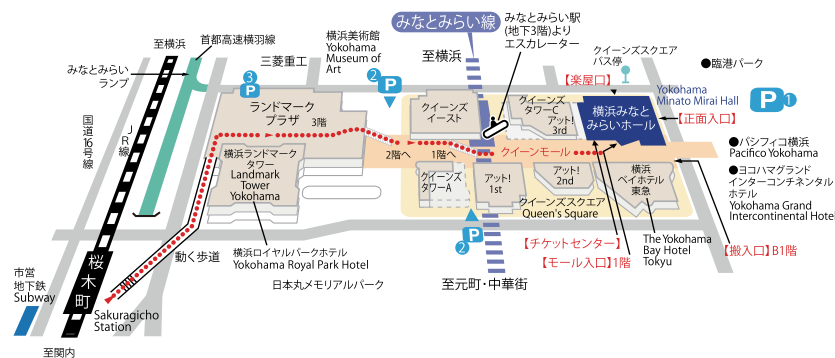
- みなとみらい駅(東急東横線直通/みなとみらい線)下車、「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分
- 桜木町駅(JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)下車、動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥(徒歩12分)

### ■横浜みなとみらいホール

〒220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-6

045-682-2020



### 横浜合唱協会では今後の活動と一緒に取り組んでいただける仲間を募集しています。

横浜合唱協会は、J.S. バッハ声楽作品の本格的な演奏を目指して1970年に発足したアマチュア合唱団です。常任指揮者の八尋和美氏(元東京混声合唱団指揮者)、ボイストレーナーの松尾地恵子、木島千夏、小林彰英、佐野正一各氏による充実した指導陣のもとで演奏活動を行っています。演奏曲はバッハをはじめシュッツ、メンデルスゾーン、ブラームス等のドイツの合唱音楽をメインに、最近ではイギリスのパロック音楽やマルタン、アルヴォ・ペルトなどの近・現代の作品などへも活動の幅を広げています。一方、かつてバッハがカントルを務めたライブツィヒ聖トーマス教会のカントル、ゲオルク・クリストフ・ビラー氏との交流は20年以上にわたり、ビラー氏の指揮によるBach FEST2000 TOKIOでのマルコ受難曲の復活演奏会や、マタイ受難曲初期稿、ヨハネ受難曲などの演奏会を通じ、その深い宗教感に根差した音楽作りから多くの事を学ぶことができました。1997、2002、2008年のドイツ演奏旅行では、聖トーマス教会の礼拝式で聖歌隊として歌う等の貴重な体験が実現しました。今年の9月には再びドイツを訪問し、初めてのドイツ交流演奏会を予定しています。

普段と違うちょっと刺激的な時間を私たちと一緒に過ごしませんか? ご連絡をお待ちしています!

- 練習日  
毎週土曜日 午後6:00~9:00

- 練習場所  
吉野町市民プラザ  
(横浜市営地下鉄 吉野町駅) 他

- 会費  
入会金 1,000円  
月会費 一般 5,500円 30歳未満 3,000円 学生 2,500円

- 連絡先  
0466-23-9221(あらい)

- ホームページ  
<http://www.ycs.gr.jp/>

### ■ チケットぴあ

<http://t.pia.jp/>

TEL: 0570-02-9999

Pコード: 264-399

### ■ 横浜合唱協会

TEL: 045-894-3031

(ふじい)

Eメール:

[ycs\\_ensoukai@yahoo.co.jp](mailto:ycs_ensoukai@yahoo.co.jp)

### ■ FAX申し込み

FAX番号 045-894-3031(ふじい)

横浜合唱協会第65回定期演奏会 バッハとメンデルスゾーン ～ドイツ交流演奏会に向けて～

フリガナ お名前				
ご住所	〒			
TEL/FAX	TEL ( )	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	FAX ( )	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先
お申し込み内容	S席	枚	A席	枚
			学生席	枚